

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	大浜地区土地区画整理事業		
事業担当	まちづくり事業部 まちづくり事業課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごこち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'03	3 環境に配慮した都市基盤整備を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	施行地区住民、市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働：施行地区住民】		
目的・目標		事業の概要	
区画整理を行うことにより、都市基盤が整備され、安全で快適な生活環境が確保できるよう、まちづくりの具現化が図られています。		快適な生活環境の確保と、海辺の立地を活かしたレクリエーション拠点の創出を目的とし、「住まう人、集う人」の安全のための『減災の視点』を考慮したまちづくりを具現化します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	事業計画の進捗率				単位	%
	説明・算定式	土地区画整理事業計画の進捗率。H22まで:75%、H23:減災のまちづくり方針3%、H24:新基本構想の策定7%、H25:都市計画決定・変更の手続き10%、H26:事業認可の手続き5%					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	70	75	78	85		
	実績	70	75	78			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
安全で快適な生活環境を確保するため、大浜地区の減災のまちづくり方針を作成しました。							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	当該地区は、海辺の既成市街地であり都市基盤が未整備な状況で、あらゆる災害に脆弱な地区となっている。東日本大震災後も居住の継続の意向が強く事業化への期待が非常に高いことから、必要性は高い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	本事業を継続することにより、安全で快適な生活環境への改善が図れることとともに周辺施設(平塚新港やビーチセンター等)の連携の必要性は高い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 ■ 受益者負担、補助額 ■ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	都市基盤が未整備なまま市街地が形成された地区の環境改善を図るには、土地区画整理事業の実施が最適であり、地権者等の負担を含め、妥当性は高い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務プロセス改善による効率化の方策 □ コスト削減の可能性 ■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他 	土地区画整理事業の施行地区だけでなく、周辺地区の整備計画と併合することにより、事業効率を上げる方策や事業の推進に民間活力を導入することが期待できます。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		<p>大浜地区土地区画整理事業の事業化は、東日本大震災の発生を受け、地元の期待がますます大きくなっていることや、長期にわたる懸案となっていることから、早期な事業化が求められています。</p>		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		関係機関との調整	関係機関との調整	事事業認可に向けた調整	新基本構想の策定
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	743	2,221	1,365	2,000
事業費 (A)		743	2,221	1,365	2,000
執行率 (%)		74.30	74.03	91.00	
内訳	職員 (人)	0.40	1.15	1.15	1.10
	再任用 (人)	0.10	0.60	0.60	0.00
人件費 (B)		3,688	11,544	11,337	8,817
フルコスト (A+B)		4,431	13,765	12,702	10,817

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	都市計画決定を受けた後、神奈川県知事の認可を受けることとなるため、県や国、庁内関係部署と協議を行うとともに、地区住民の事業への協力、理解を深め事業化への調整を進めます。
課長コメント	当該地域は既成市街地でありながら都市基盤整備が遅れているとともに、自然災害を受けやすい地形となっているため、地区住民の事業への期待は大きく、安全で快適な生活環境を確保する本事業の早期事業化が必要と考えています。また、湘南海岸に面する立地特性を活かし、市民に海洋性レクリエーションを供するまちの創出を考えていきたい。